



日本三大美林見学

実施日

平成26年7月28日（月）

場 所

長野県木曾郡上松町

- ・ 赤沢自然休養林
- ・ 奥千本
- ・ 新上松土場

対 象

環境科学科 2・3年生

赤沢自然休養林

日本における森林浴発祥の地



日本における森林浴発祥の地とされる。もともとは伊勢神宮などの御神木・建築用材を産出する森林地であり、近世は全国の城郭建設資材の供給地から尾張藩の厳しく管理する留山となる。明治以降皇室財産の御料林（のちに神宮備林）、戦後は1947年（昭和22年）林政統一により国有林に編入。永年に渡り木材を出荷していたが、外材の輸入増加にともなう林業の不振により、全国初の自然休養林として公園に変更する。

御嶽山

赤沢自然休養林

森林を構成する樹種

木曾ヒノキを中心とした針葉樹。ヒノキの他にサワラ、ネズコ（クロベ）、アスナロ（ヒバ）、コウヤマキなどが分布する。

樹齢は平均300年と推定されるが、これは江戸時代の文献や、倒木の年輪の調査を重ねて算定された。近年、この一帯のヒノキ林はアスナロ林への遷移が危惧されている。



木曾森林管理署（管内）に勤める森林官



森林官に木曾ヒノキ
や森林の歴史など様
々なことを説明して
頂きました。



マイナスイオンいっぱいって心も体も癒される～

木曾森林管理署 上松土場の見学



木材土場や木材流通について説明を受けました。

